



# ふようだより



## 今、大切なこと

園長 足立 祐子

いよいよ冬の到来ですね。日に日に寒さを感じる季節となりました。しかし、園での子供たちの様子を見ると、どの学年も元気いっぱい駆け回っています。健康でたくましく育っていくために、幼児期である「今しか出来ないこと」「今やると良いこと」がたくさんあります。「まだ小さいから、小学校に入ってからでもいいわ。」と思わずに、この時期を大切に過ごしましょう。

### 〇感じること・言葉で表現すること

一人一人がもつ様々な感覚を刺激し、感じる力を研ぎ澄ましましょう。「感じる」なんて、放っておいても感じるでしょ、」というのは間違いで、そのような働きかけと環境が無いと感じる力が育ちません。「なんだかいい匂いね。なにかしら?」「わあ、あったかいね。ほかほかする!」「冷たくて、つるつるだ」そんな日常の会話の中で、「この感じ、こうやって言うんだ(表現するんだ)」と表し方を知ったり、その感覚そのものに心を寄せたりしていきます。「氷は冷たい」「お湯は熱い」ということは知識として知っていてもその感覚は分からない、ということが多くあるものです。「火は温かいけど、近づきすぎると熱い」などは、実際に感じてみないと分かりません。自分の身を守るためにも、ちいさな「実感」をたくさん蓄えていきたいものです。

先日園で「ふかし芋」をした際には、「こがし芋?」「ふかすって何?」「焼いてないの?」と様々な言葉が出てきました。現代の生活に「ふかす」という言葉が身近ではなくなっているのです。主事さんは、実際に使った蒸し器を見せて、「この下の段に水を入れて、ふかふかお湯を沸かせて上の段にお芋を入れたのよ。」と説明してくれました。「湯気がふかふかだからふかすっていうのかな?」などの会話も聞かれました。今感じていることが言葉に出せると、誰かと共感したり、興味をもって追究したりすることにつながります。本当の学びは、この実体験を通して行われます。忙しい師走の時期になりますが、小さなことを言葉で伝え合う習慣を家族の中でも心掛けてみましょう。きっとたくさんの、学びがあるはずです。

### 〇感謝すること、されること

年末年始は、親せきや家族と過ごすことも多いと思います。あいさつやお礼などは大人が見本を見せていくと共に、事前に「お正月は、『あけましておめでとうございませう』ってあいさつするのよ。言ってみようね」と知らせたり、「頂きものしたら、なんて言おうか?」と確認したりするだけでも、心構えができるものです。普段会わない方と会話をする事自体に戸惑うこともあるので、最初の手掛かりを作ってあげると声を出しやすいでしょう。たくさんの人と過ごすことで、状況を判断したり相手の思いを汲みとったりすることも貴重な体験です。

また、大掃除など家庭の中で役に立つことをして感謝される経験をすることで、自己有用感が高まります。日本の子供たちは様々な場面で自分自身を低く評価する傾向があるとされていますが、小さなことでも「やったらできた」「自分には力がある」ということを、毎日実感できるように声を掛けていくことで、自信が生まれ、明るく強く、元気でたくましく、育っていくのではないのでしょうか。

